

Baby Loss Awareness Week（亡くなった赤ちゃんに想いを寄せる1週間） におけるライトアップの実施について

流産や死産などにより子どもを亡くされた方やその家族への社会的理解の促進とグリーフケアに関する普及啓発を図るため、「Baby Loss Awareness Week(※)」の一環として、下記のとおり、今回初めてライトアップを実施することとしましたので、お知らせいたします。

(※) Baby Loss Awareness Week の概要

- ・流産や死産などで亡くなった赤ちゃんに想いを寄せる国際的な啓発週間（10/9～10/15）
- ・2002年頃の妊娠・乳幼児喪失に関する啓発活動を起源とし、現在は英国の「Baby Loss Awareness Week Alliance」が中心となって実施されている。

記

○ 実施内容

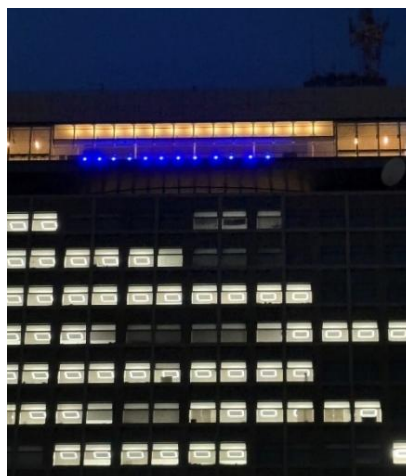
- ・実施日：2026年10月14日（水）
- ・点灯時間：18時～22時
- ・概要：県庁舎25階南側展望ロビーにおいて、ピンクとブルーのライトアップを実施

ピンクとブルーは、赤ちゃんを象徴する色として国際的に用いられている Baby Loss Awareness Week のシンボルカラーであり、性別に関係なく、亡くなった赤ちゃんとそのご家族への追悼と支援の気持ちを表しております。

【参考】ライトアップのイメージ

25階がピンクとブルーに点灯します。

〔画像は県庁舎25階でのブルーライトアップの様子〕



【問合せ先】

茨城県福祉部子ども政策局少子化対策課 野原

電話 029-301-3257

FAX 029-301-3264